

理事会議事録

日時：2002年1月12日(土) 11時00分～16時30分

場所：国立天文台（三鷹）講義室

出席者：田原，松田，郷田，大石，松原，立松，上野，大橋，茂山，加藤，松元，吉田，山内 以上13名

欠席者：唐牛，黒田 以上2名

有効委任状提出者：唐牛，黒田 以上2名

他に，東條事務長が参加した。

議事に先立ち，署名人を選出した

議長：田原博人

署名人：郷田直輝，大石雅寿

【報告】

1. 前回議事録の確認（資料1）

郷田理事より前回（2001年10月6日）の理事会議事録が報告され，誤植を修正の上承認された。

2. その他

(1) 2004年以降の年会について

郷田理事より2004年秋季年会は岩手大学と国立天文台水沢がホストとなって岩手大学（盛岡）を会場として開催する予定となること，2005年秋季年会については北海道大学工学部がホストとなること，が報告された。さらに2005年春季年会の開催地について意見交換を行った。

(2) 宇宙3機関の統合に関する要望書について

2001年11月に文部科学省に提出した宇宙3機関の統合に関する要望書に関連する対外的な動きについて，田原理事長と郷田理事より簡単な報告があった。

(3) 2002年秋季年会会場について

山内理事より，秋季年会の会場等について当初予定に沿って実施できるであろうという見通しが報告された。

【議題】

1. 2001年度事業報告案について（資料2）

2001年度事業報告案を郷田理事が説明し，質疑応答の後，同報告書案は承認された。

2. 2001年度収支決算報告書案（資料3）及び監査報告書（資料4）について

2001年度収支決算報告書案を松原理事が報告し，質疑応答の後，報告書案は承認された。また2002年1月11日に実施された監査の結果，上記事業報告案及び収支決算報告書案が正当であると認められたことが監事の代理として郷田理事が報告した。さらに，監事からの付帯意見として，早川基金の採択者を決める際には採択の敷居があまり低くなりすぎないように注意することが求められたことが紹介された。これに関連して早川基金の支出費目等について意見交換を行った。

3. 新入会員等の承認について（資料5）

新入会員等の名簿が郷田理事より示された。28名の新入正会員，4名の準会員から正会員への移籍などが承認された。同時に退会者に関する報告も行われた。

4. 財政改革案に関して（資料6）

天文学会の一般会計財政改革に関する検討結果を松原理事が説明した。主な提案は、2つであった。

- 1) 非会員の年会登録料・講演登録料などを見直すことによって、非会員のまま年会に参加するよりも会員になるほうが有利となることを示して会員数が増えるように誘導する。
- 2) 正会員（学生）の会員期間を本人に自己申告してもらい、期限がきても特段の連絡がない場合は自動的に退会処理を行う。これを実施するメリットは、現在行っている卒業後の学生への会費請求や郵便物の送付が不要になること、及び、会費の自動引き落としに依りやすくなることである。これらの内容について評議員会や春季総会で説明を行って理解を求めると共に、評議員会や総会場で出る意見を踏まえてより良い実行案とすること、また、これらの改訂のメリット/デメリットを会員によく周知する必要があることを確認した。これに関連して、現在提出をお願いしている学生証のコピーの送付依頼は不要とする方針を決定した。

一方、評議員総数を30名から20名にする件については次回の評議員会で議論をお願いすることとした。PASJ電子版が刊行補助金の対象にできるかどうかについては他学会とも連携し、慎重に対応することとした。月報記事の内容・原稿の長さが多くの読者にとって必ずしも最適化されたものではないことが認識されており、この問題については編集委員会が責任をもって対応する方針であることを上野理事が報告し、理事会としてこの方針を支持することとした。茂山理事から年会予稿集の書籍扱いが可能になったことの報告があったと共に、天文月報に掲載する年会プログラムを掲載著者数を減らすことを通じた簡略化（携帯化）の検討を行った結果、印刷費の節約が可能であることが明らかになった。これについて意見交換を行い、携帯しやすいプログラム集を作成するメリットが大きいので、この方針を支持することを決定し、次回評議員会へ諮ることとした。予稿内容の学情センターへの登録（英語の要旨が必須）についてはさらに検討することとした。

5. 総会のあり方について（資料7）

天文学会総会の実施方法について検討した結果を郷田理事が下記のように報告した。年会プログラム構成を工夫し、全てのセッションの予定終了時刻を総会開始予定時刻の少なくとも30分前とし、20分前から総会出席正会員の受付（確認）作業を開始して予定時刻になったら受付を終了して有効出席者数を確定させる。受け付けられた正会員には札を渡し、賛否はその札を上げることにより行い、準会員や遅れて入場した正会員のオブザーバー参加を可能にする。（オブザーバーには議決権は与えない）。また、途中退席者には会場出口で札を返却してもらい、議決を採る際の出席者数から除外する。民法第62条及び第64条により議決の対象となる議案は事前に全社員（正会員）に提示しなければならないこと、また、民法第65条により表決権に関して全社員は平等であることから、総会時の修正提案は受け付けることができない。また、「議長」への委任は定款第40条によると理事長への委任となるため、これまで通り無効と扱い、個人名をあらわに出した委任状のみ有効と扱う。

これらについて意見交換を行った後原案を了承し、さらに評議員会の意見も踏まえた上、春季総会で説明する方針を確認した。

6. 2002年春季年会（茨城大学）について

2002年春季年会の準備状況等について茂山理事が報告を行った。講演申し込み数は498件、ジュニアセッションは約20件（British councilからの参加あり）である。セッション会場は7会場用意し、年会講演は6会場で行い、ジュニアセッションやALMA特別セッションは7会場目（人文学部講義棟）で開催予定である。その後吉田理事から報告があった。ポスター会場は体育館なので3日間張り替えなしでポスター発表が可能である。公開講演会の講師は田中秀和氏（東工大）、岡村定矩氏（東大）であり、3月31日(日)に茨城県立図書館で実施されるが、会場借り上げの便宜を図るため茨城県立図書館との共催とすることを了解した。宿泊手配等を日本旅行に依頼しており、そのホームページを学会ホームページにリンクすることを了解することとした。

7. その他

(1) 茂山理事から2002年秋季年会から企画セッションにおいてコンビナー制を試行する提案があった。コンビナーにはセッションにおける口頭発表とポスター発表の選択、レビュー的講演の選定、発

表時間の割当，座長の決定などの権限を与える。理事会として試行を支持することとした。また，本件を次回評議員会に諮ることとした。

(2) 公開講演会の講師の選定に当たっては，プレゼンテーション力，知名度，開催地の要望などの要素を考慮し，天文教育理事が中心となって仕事を進めることを確認した。

(3) 春季総会の議題として，事業報告，収支決算報告を議案とし，財政改革について会員の意見を募ることを確認した。

(4) 2003～2004年の役員候補の選定は，5月を目処に行うという方針を確認した。

(5) 次回の理事会・評議員会の予定を以下のように決定した。

理事会：2002年3月28日(木)

評議員会：2002年3月29日(金)

上記予定はこれまでの慣例と異なり理事会が評議員会に先行するが，これは理事会として評議員会に諮るべき事項に関し理事会として正式に承認するために必要な措置であるとの認識に立ち，今回試行することとしたものである。

2002年1月26日

議長 田原博人 印
署名人 郷田直輝 印
署名人 大石雅寿 印

[天文学会ホームページに戻る](#)